



◀本館の外観

「豊平川さけ科学館」は、サケのふ化放流事業のほかにも、サケの仲間の生態や豊平川の自然環境などを楽しみながら学習することができる施設です。北海道のイトウやオシロコマ、外国のホッキョクイワナ、カットスロートなど、サケの仲間20種類の飼育展示をしています。

サケの生態を学ぼう

本館の展示ホールでは、模型やパネル、ビデオ、図書などでサケの生態を学ぶことができます。飼育展示室の水槽にはサケの仲間を種類別に展示。また、地下観察室では、大きく成長したサケの仲間が悠然と泳ぐ姿を見ることができます。



このほかに、サケの人工採卵受精を行う採卵ふ化室もあります。
 かな館では「豊平川の生物」というテーマで、豊平川に生息する魚を中心に水槽展示しています。魚のほかにも、ザリガニやエビなどを見ることができ、身近な川にこれほど多くの種類の生物がいることに驚くかも。
 また、豊平川以外に生息するカニやカメラなど、合わせて約30種類の展示水槽があり、じっくり観察を楽しむことができます。



- ① 「サケの成長」、「回遊ルート」などの解説パネル【展示ホール】
- ② 「サケの赤ちゃんだ!」【飼育展示室】
- ③ ギンザケとキングサーモンの迫力ある泳ぎが間近で【地下観察室】
- ④ カエルやサンショウウオもいるよ!【さかな館】

豊平川さけ科学館では「サケ稚魚体験放流」や「採卵実習」などのさまざまなイベントが開催されます。この日は土曜体験で「サケたちのエサやり体験」が行われました。大勢の親子が、イトウには大きな餌を、ニジマス、イワナなどには小さな餌を池に投げ入れると、あちこちで魚が飛び跳ね、子どもたちから歓声が上がりました。「今度は大きい餌ちょうだい!」と子どもたちは職員から何回も餌をもらっていました。
 このようなイベントの手伝いや魚の世話などには、多くのボランティアが協力。同館と来館者との橋渡しをする重要な役割を担っています。
 同館は年間を通してサケの成長する姿を見学することができます。職員の前田有里さんは「土曜体験は小さなお子さんも楽しめます。真駒内公園内にあるので、ベビーカーを押したお母さんたちも散歩の途中に来館されます。皆さんも気軽に挑戦してください」と呼び掛けます。

札幌市豊平川さけ科学館 ☎582-7555

所在地 南区真駒内公園 2番1号
開館時間 午前9時15分～午後4時45分
休館日 月曜日（祝日の場合は次の平日）、年末年始（12月29日～1月3日）
入館料 無料

ホームページ <http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>

※土曜体験やその他イベントの日程などは、本誌全市版で随時募集案内を掲載しますので、ぜひご参加ください。

※イベントや魚の世話などをお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。活動に興味のある方は、上記へお問い合わせください。

